



ゆずり葉の「こころ」

乙島っ子

令和5年度 NO. 33

令和6年 3月26日 倉敷市立乙島小学校

「レジリエンス」は、身に付いたか。



にらんでいるわけじゃあないのに…



どうすればいいのでしょうか？



誤解を解くため、よく乗り越えられた！

児童にとっての令和5年度も、本日の修了式の日をもって終わりです。3学期のテーマは、「レジリエンスを身に付ける」でした。児童には、ちょうど1週間前に行われた6年生だけの修了式と同じ内容を話し、伝えました。友達から、「自分がにらんでいる」と勘違いされることに悩んでいた6年生のAさん。筆者の部屋に相談に来ました。本人の思いを聴き、次を提案しました。「勘違いされない位置にいるようにする」「目が合うと、さりげなく、ほかに目をやる」「もし、勘違いされたら、そうでないことの事情を説明する」。その後、「勘違いされたかも…」と心配になった日に、再び相談に来ました。筆者が本人を代弁し事情を説明すると、理解してもらえたようでした。

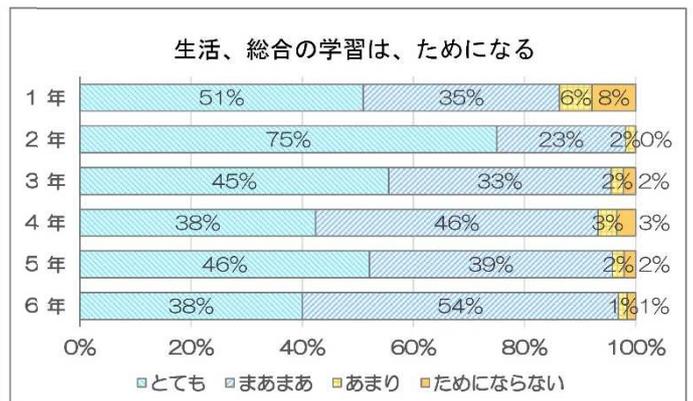
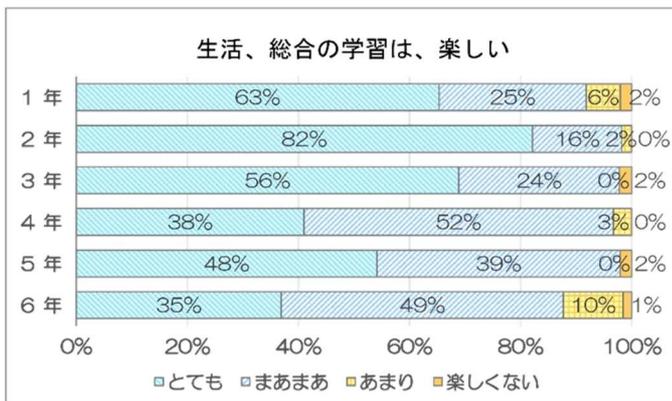
成長の「秘訣」

成長の大きかった児童、教職員には、「ある共通点」があると見られました。それらを「秘訣」として記します。

- その一 **はっきりとした「めあて」がある** 筆者が本校に参り、最初の始業式で児童に伝えたことが、この「『めあて』をもって生きる」ということです。一方、集団に係る「めあて」は、「テーマ」と呼びます。
- その二 **「お手本」から「真似」ぼうとしている** 本年度2学期のテーマが「『お手本』をみつける」でした。児童が、「まんま」から始めて「応用の」真似ぶに向かうよう、教師も、その「お手本」となりたいです。
- その三 **周りのせいにならず、自分から動いている** 「レジリエンスは、実は、普段から発揮しているもの」と、本日、再確認しました。困難を環境や周囲のせいばかりにしては、「乗り越える力」は付きません。
- その四 **自分を認め、応援してくれる味方や仲間がいる** 「くじけそうになる心」にエネルギーを与えてくれるのは、友達や同僚の同調です。そのためにも、「日頃からのコミュニケーション」が重要です。

これまでも、これからも…

令和3年度から「3年計画」で、特に、総合的な学習の時間の充実に取り組んできました。生活、総合の学習は、県が推進している「夢育」、「非認知能力の育成」を担う「いきかた」の学習であるからです。アンケート結果では、6年生は「楽しさ」の実現に課題が見られましたが、その「有用性」は、ほぼ全員が認めていることが分かります。



これからも、「生きる力」としての「非認知能力の育成」を、「楽しい授業」とともに、実現に向け、取り組みます。

※ カラー版を Web ページに掲載しています。ご覧ください。→http://www.kurashiki-oky.ed.jp/otoshima-e/letter_3_2_2_5.html